



第5回あきる野市

総合スポーツ祭開会式

8月26日(土)、秋川体育館で、第5回総合スポーツ祭の開会式が行われました。

小学生からシニアまで各競技の選手団約450人が参加し、来賓に市長始め、市議会議長、社会教育関係者を迎え、盛大に開催されました。

あきる野市体育協会主催のこの総合スポーツ祭は、市のスポーツの発展のため、体育協会

加盟の26団体が、広く市民に参加を呼びかけ大会を開催するもので、8月のラジオ体操大会から来年3月のスキー教室まで長期間にわたり行われます。

開会式では、平野体育協会会長が「それぞれの選んだ競技で練習の成果を発揮し、また、人生における財産でもあるスポーツ仲間を増やしてください」とあいさつし、来賓の方々の祝辞



剣道連盟の長瀬さんによる選手宣誓

に続き、表彰者が発表されました。

この表彰は、永年にわたり、社会体育と団体活動にご尽力された功績によるものです。

選手宣誓は、剣道連盟の長瀬由夏選手がさわやかに、いよいよ7ヶ月に及ぶスポーツの祭典が幕を開けました。

▽体育功労表彰(敬称略)

●竹田日東男(クレイ射撃連盟)

●竹中 民男(サッカー協会)

●小川 金二(柔道連盟)

●乙津 都丸(スキークラブ)

平成12年度評議員会

4月21日(金)中央公民館に於いて、平成12年度の評議員会が開催されました。来賓には田中市長、小林教育長、橋本社会教育部長が出席され、開会の言葉、会長挨拶に続き議長にはゲートボール連盟の根本良助氏が選出され議事に入りました。

平成11年度の事業報告、決算及び監査報告、平成12年度の事業計画案、予算案がスムーズに審議され議決されました。また、今年度は、役員改選のため選考委員長の篠塚宏氏(ソフトボール連盟)から新役員の選考結果が発表され承認されました。新役員を代表して平野会長より挨拶があり新役員の紹介がありました。

来賓の祝辞で、田中市長から各イベントに対する体育協会の協力にお礼の言葉がありました。

●岡野美恵子(スキーとハイキングの会)

●浦野 清隆(ソフトテニス連盟)

●宮野 公子()

●奥津 晴右(ソフトボール連盟)

●松本 克巳()

●奥平ひろ子()

●星野 護(バレーボール連盟)

●藤松 純子()

●村上キヨノ(陸上競技協会)

▽体育優良団体表彰

●卓球連盟

●バレーボール連盟

平成12・13年度

体育協会役員

顧問 神田 公司

会長 平野 知巳

副会長 向笠 功

副理事長 橋本 久夫

理事長 浜中 正吉

副理事長 小室 輝雄

監事 青木 健治

田野 倉裕二

小峰 宗次

浦野 則良

あきる野市体育協会加盟団体の

活動状況や大会等の活躍を紹介します

あきる野市体育協会には、現在スポーツに関係する26団体が加盟しています。

そこで、今回と次回(2)に分けて加盟団体の活動状況や大会等の活躍を紹介していきます。

各連盟は、広く市民の間にスポーツを普及し市民の健康増進と体力向上をはかり、スポーツをとおして地域の活性化とあきる野市のまちづくりに協力をしてまいります。

合気道連盟

「攻撃から身を守る武術」

あきる野市合気道連盟は、小学生の女の子から小・中・高校生、一般社会人の男女、そして成年(リタイアされた人も含む)まで、幅広い年代の人々が体全体を使っての稽古に汗を流し、健康増進に役立てております。

稽古と言いますと、とても厳しい感じもありますが普段使いつけない筋肉等を少し多めに伸ばしたりすることです。

これから何か始めようかとお考えの方ぜひ一度見学にお越しください。

合気道には試合はありません。

もっぱら攻撃から身を守るという武術の一つであるため、広く女性から年配者までができます。

稽古は、

- 秋川体育館で毎週金曜日、午後7時～9時
- 五日市フラインブラザで毎週火曜日、午前10時～12時
- ▽ 連絡先 合気道連盟会長 天野 (☎596-6141)



弓道連盟

「日本古来の伝統文化」

「弓道を後世に」

我があきる野市弓道連盟は、昭和50年7月、当時の秋川弓道連盟として発足しました。当時の会員数は10名程度で弓道場もなく現在の中央公民館周辺に青空練習場を構えて修練に励んでいました。ちょうどそのころ体育館建設時期に出合い、昭和54年6月市関係者並びにOB諸氏の懸命なご努力により、今日の立派な道場が完成されたわけ

です。

インディアカ連盟

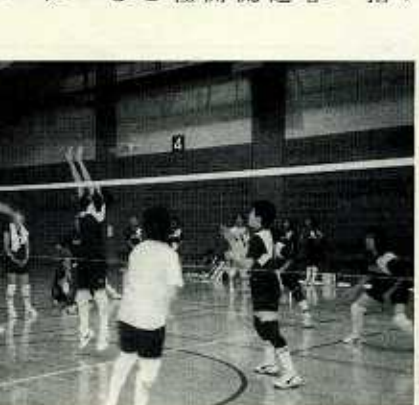
「手軽で面白い」

インディアカは、羽根の付いたスポンジボールを手で打ち合い、4人対4人で対戦する競技です。ルールは6人制のバレーボールとは同じで、コートのはしはバドミントンと同じです。レクリエーションスポーツでもあり、勝つことのみにこだわらず、和やかに練習や試合を行っています。

連盟には9チーム(女子7チーム、男女混合2チーム)140人が加盟し、練習は週1、3回、20代、60代の幅広い年齢層の人たちが「明るく、楽し

く」をモットーに、インディアカを通しての仲間づくりも目指しています。

大会は、市民の方対象の「春季大会」「総合スポーツ祭」連盟内の「夏期大会」他地域交流の「マロン大会」と、年4回開催しています。どなたでも気軽に参加できるよう、レベルごとに分けたコートで順位を決定します。



その他、他地域の交流大会にも数多く参加しています。会員随時募集中ですので、手軽で面白いスポーツを行ってみたい方は、ぜひ、インディアカ仲間になりましょう。

▽ 連絡先 遠山 (☎596-4988)



あります。本誌をお借りして関係者各位へ厚くお礼を申し上げます。その後、平成7年9月新生あ

きる野市の誕生と共に、これに期に今日の隆盛を極められる事になりました。幸いにして会員数も年々増加し、現在は男女合わせて60数名を数えることができました。会員構成としては高校生を始めとして大学生、サラリーマン、主婦、超OBなど老若男女、若者を先頭に修練に取り組み、心身弓のさらなる向上を目指しているところでもあります。

当連盟の目的は、弓道の修練を通して会員相互の親睦を図り、もって人生をより高く豊かにすることにあります。そして弓道の教えてくれる徳目を会得することと合わせて健康増進を図ることに大きな目標にしています。

活動状況といたしましては、東京都第三地区弓道連盟あきる野支部の顔を持ち、同連主催の大会への挑戦及び講習会、昇段試験など区部を含めた活動をし、そしてあきる野市の存在価値をアピールしています。また連盟といたしましては多摩地区大会、市町村大会、都民大会等へ積極的に参加しています。

今後の活動といたしましては、せっかくこの地あきる野市に定着させた日本古来の伝統文化弓道を後世に継承すべく多くの若い人々を育てて参りたいと思います。どうか市民の皆様温かいご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

▽ 連絡先 弓道連盟会長 猪狩 (☎558-6575)

クレイ射撃連盟

クレイ射撃に思う

現在あきる野クレイ射撃連盟という射撃団体がありますが、東京都内には射撃場はなく年間の活動日程を組むのに苦労して居ります。それでも何とか他県の射撃場と契約致しまして年間8回位の大会及び練習会を行っております。

射撃には何種類か有りますが主に次のトラップ及びスキート射撃の二種目で行っています。競技には散弾銃を使用し、東京隣接の県の射撃場を借りて行っています。大会も東京都主催、連盟大会と開催致して居り都の大



会には千葉県SKB成田国際射撃場に参加し盛大に行われます。一年間の行事は春に始まり秋に終了する訳ですが、成績の方もいろいろと事情があり練習回数も少く今一と言う所です。又幸にも今迄事故もなく安心して居ります。

最近特に銃の事故事件も多発し銃を持つ身ながら心苦しく思

います。また数年前には射撃指導員の資格を皆様のおかげにて取得し、各大会のある時には役員としてお手伝いしております。近頃他所の団体も入会者が少なく大変だとのこと当連盟も同じですが、何とか長く続けるため新会員獲得に頑張っております。又我々の趣味は銃という危険な道具だけに国の規制が厳しく銃及び火薬の許可に日数的に時間を要するためになかなかその気にならないのだと思います。射撃というスポーツは非常にメンタルな所がありその上危険が伴う。また、ギャラリイも制限されなんと色気のないスポーツだと思われ孤獨的である。仲間が皆同じだと思ふ。私には合っている。危険度の高い銃が

サッカー協会

サッカー協会の活動状況

当協会の加盟団体は、現在二種12団体で、会員数は約250人です。

第一種は、青年層を対象にしており、4月から10月を目途に1回戦総当りのリーグ戦を行っています。

第二種は、40歳以上を対象としており1チームのみです。

リーグ戦とは別に「総合スポーツ祭」を11月から2月にかけて、トーナメント方式で行っています。こちらの大会は、市内在勤在住者であれば、加盟団体以外のチームの参加も認めら

れていますので、今年は、16チームによる大会が見込まれています。

上部団体に「三多摩サッカー連盟」がありますが、リーグ戦の優勝チームを「クラブ選手権」35歳以上の選手の選抜チームを「壮年大会」に派遣しています。また、「都民スポーツ大会」及び「区郡市サッカー連盟」の大会に、選抜チームを派遣しています。

40歳以上の選手を対象とした「都民生涯スポーツ大会」にも選抜チームを派遣しています。

さて、主な活動は前記のとおりですが、今後改善していかなくてはならない重要な課題が2つあります。

第一に、専用グラウンドの確保です。本来のサッカーのルール通り雨天でも大会を行えるグラウンドが是非とも必要です。この件については、「専門委員会」を設けて取り組んで行きます。

第二に部門の整備です。「女子部門」「ジュニアユース部門」など普及、組織化を考えなければいけない時期であります。特に少年層については、「少年連盟」と交流は行われていませんが少しずつでも交流を開始し、将来的には、1つの団体として、活動して行くのが、理想と思っています。

▽連絡先 サッカー協会会長 橋本喜久司(☎5559-1899)

90)

大好きである。それなりに管理に気を使う。これからの気の合う同志同じ競技を楽しむ事が最高だと思ふ。(富沢 進)

▽連絡先 クレイ射撃連盟会長 富沢進(☎596-0540)

ゲートボール連盟

ゲートボール連盟の現況

あきる野市ゲートボール連盟結成5年目を迎え、結成時の役員方の言い知れぬ努力の積み重ねの賜物により、堅実にその活動の成果が顕著に現れている。

一、組織について

西川芳神会長のもと西秋留、多西、東秋留、五日市の四支部を設け、所属チーム数56、会員は男子183名、女子198名計381名、東京ゲートボール連合に加盟している。

二、活動について

連盟主催の大会を年5回、市総合スポーツ祭、市外の諸大会に積極的に参加、また市老連主催の大会も主管している。四つの各支部もそれぞれ、独自の競技会を毎月実施し、技能の向上とお互いの親睦を図っている。

三、普及活動について

(1)初心者講習会の実施
例年8月の各土曜日、秋川駅南運動広場を使用して行っている。参加者は終了後、地域のチームに加わり、楽しんでいる。

(2)生涯スポーツの観点からゲートボールは決して高齢者のスポーツではない。高齢者に



も適しているスポーツであり、年齢、男女も問いません。近い将来学校の完全週休二日制も発足すると聞いている。この際小中学校の部活動で取り上げていただけるよう働きかける計画もある。学校の近くのゲートボール場でも老いも若きもいっしょになってゲームしている姿を想像してみても情操教育に大いに貢献できるものと思います。

また、軽スポーツとしても最近その意識が高まっており、会員の親睦と健康増進のため、大いに普及振興を図っていききたい。

四、将来の希望として
生涯スポーツの実施の場として晴雨にかかわらず、競技のできるドームの建設を要望します。(事務局長 佐藤善一郎)

▽連絡先 ゲートボール連盟会長 西川芳神(☎5558-0558)

剣道連盟

御岳神社奉納大会で優勝

あきる野市剣道連盟は、秋川市剣道連盟と五日市町剣道連盟が、平成8年4月あきる野市体育協誕生と同時に合併して結成した。

現在、会員数は、320名と多摩地区でも多く、また、高段者の数も七段が22名、六段が21名と多数おり、活動も非常に活発である。

通常の活動は、水曜日に秋川体育館と日曜日に五日市フアインプラザで毎週稽古を行うと共に、主催事業として総合スポーツ祭の剣道大会や新年剣道大会

柔道連盟

総合スポーツ祭では70人の選手が熱戦

柔道連盟は、秋川地区の秋留台柔道会と五日市地区の秋川柔道会の2団体が中心となり、五日市警察署少年柔道、五日市中学校柔道部、渋谷柔道教室と協力体制を組み、構成員168名で活動を行っています。

主な練習日は、秋川体育館で水・土、五日市フアインプラザで月・金・土の計5回実施しています。指導者は、四、五、六段の先生方を中心に充実した練習内容で、初心者から現役の方まで満足のいくものになっています。

を開催、また、各剣道大会にも積極的に参加している。

昨年、由緒ある青梅御岳神社の奉納剣道大会では強豪を破り、念願の優勝を果たした。

当剣道連盟には、加盟団体が8団体あり、各会場で会員が小中学生に剣道の指導をしている。その加盟団体は、秋流剣友会が五日市小学校で、増戸剣道会が増戸小学校で、西秋留剣友会が西秋留小学校で、南秋留剣道会が南秋留小学校で、東秋留剣道会が東秋留小学校で、前田剣道会が前田小学校で、屋城剣友会が屋城小学校で、多西剣友会が多西小学校で、毎週二、四回の剣道の指導を行っている。

そこで育った剣士が、中学・高校のクラブ活動で、また、社

また、昇級審査は年1回連盟で実施し、昇段審査は上部三多摩柔道会と連携を取り、年4回の審査会に毎回受験し全員合格しております。昇段のための形講習会を希望者には実施しています。

他地区の柔道大会にも小中学生を中心に参加し、好成績を収めています。五日市中学校の鈴木康宏選手、菱田怜子選手は、中体連の都大会にそれぞれ出場し、ベスト8と3位という成績でした。今年度より中体連の試合参加が、中学校に柔道部がなくとも個人で参加が可能になりましたので、連盟としても有望な中学生を積極的に参加させていく方針です。

会に出て剣道で活躍している者が多数いる。

近年、少年・少女の剣道人口は、少子化等の社会情勢の変化により、全国的に減少しつつある中、あきる野市においてもこの傾向は同様であるが、本市の剣道会では、現在、360名を超える小中学生が剣道を学んでいる。



一般の方には、三多摩柔道会主催の各大会や全国及び東京都の高段者大会等の参加も奨励しています。連盟主管のあきる野市民スポーツ祭の柔道大会は今年で5回目を迎え、毎回70名程の選手が熱戦をくり広げています。

今後の課題として、高校を卒業したぐらゐの若い層の人達をいかに確保していけば良いのかがあります。また、学校週五日制の実施で社会教育としての指導体制をどのように確立していくのか、これから役員一同全力を挙げて努力をしていきたいと考えています。(青木健治記) 健治(☎596-0032)

社交ダンス連盟

オリンピック参加も夢ではない

今後私たちは、剣道を通じて青少年の健全育成に寄与していきたい。

▽連絡先 剣道連盟会長 村野茂(☎558-5715)

連盟発足の母体となった同好会は、昭和50年に、教育委員会の指導のもとに「社交ダンス」講習会を行ったのがそもそもの始まりです。同年に120名の参加で、秋川社交ダンス同好会が発足したとのことです。以来初心者講習会が、毎年欠かすことなく続けられ、今年で24回目を迎えました。当時から今もダンスを楽しんでいる会員は、10名前後になってしまいいま24年の歳月を感じる年となってしまいました。

連盟は平成元年に「体育協会」に加盟、以来、ダンスの楽しみ方も競技ダンス、社交ダンスの二本立てになったと思います。競技ダンスが、「オリンピック」参加も夢ではなくなってきました。とは言ってもダンスの底辺を支えているのは、社交ダンスだと思っています。

連盟の行事計画の中で変わりは「綱引き大会」参加の項目がある事です。参加案内がきたときは「けが」でもしたら大変だよ、保険をかけたらと前向きな提案等色々でした。参加することになったのは「面白そう



じゃん」の一言でした。以来女子3チーム男子2チームぐらいで一般の部に参加しています。第一回目は全員の体が「固まって」しまいました。如何にも強そうな名前ばかり「一・一家」「クラブ」「消防団」等案の定1、2の3で3秒もたずに負け色々意見がでました。練習だ、参加しても「無駄だ」等何れも「勝」にこだわるための意見で内緒の話ですが練習しても無駄です。ダンスの練習でいいと思いますが、ただ負けていなかったのは全員の気持ちで声援は「優勝」だ、と思いきや今は全員で弁当を食べ負けに花が咲き楽しく参加しています。(築地原輝夫記) 築地原輝夫(☎559-3703)

少林寺拳法連盟

心と体が
バランスよく鍛えられ

少林寺拳法連盟は、あきる野支部と東京五日市支部から構成され、両支部会わせて現在50名余りの拳士が所属して秋川体育館並びに五日市フラインプラザを拠点に活動しています。大会としては毎年東京都連盟主催による東京都大会に参加し入賞を果たしています。さらに昨年は新潟で行われました全国大会にも出場できました。また市内の大会も回を重ねて今年で16回目を数えます。大会以外にも、会員相互の親睦交流を深めることを目的とした春のレクリエーション、そして冬休みには餅つき会等の行事を行っています。当連盟の特徴は、参加者の世代の幅が広いことで、小学生から



五十代までの方が、互いに影響を受けながらのしく練習を行っています。

少林寺拳法の技法の特徴は護身の技であり、力や体力に関係なく、誰もが身を守れるように、力学的・生理学的な原理に基づき合理的につくられています。

心と体がバランスよく鍛えられて行くことから、青少年の健全育成の一役をも担っています。「競い合うのでなく、お互いに学びあい、ともに向上しよう」という姿勢は、「生涯学習」生涯スポーツが求められているこれからの社会にとって、大いに役立てられるものがあります。

少林寺拳法連盟は、開祖、宗道臣の残した「自己確立」「自己他共楽」のコンセプトを基に練習に励んでいます。具体的には、「自分の有り様を知ること、全体の中での自分の位置を知ること、人への思いやり、人と人を通して創造性を養うこと」などが日々の生活の中で生かせるようにするためです。そして、これらを体得する術は修練のシステムの中に組み込まれています。また、苦行ではなく養行をモットーに、老若男女、生涯修行として行っているような取り組みも行っています。その他、ボランティア活動を通じて地域の交流を行っています。

▽連絡先 少林寺拳法連盟会長 高井勉 (☎595-11938)

宮野・佐藤ペア関東大会へ
都大会でV

ソフトテニス

ソフトテニス連盟の宮野公子・佐藤富美子選手のペアが、5月に行われた第22回全日本レディース東京大会・ふじAの部で優勝し、群馬県で11月開催予定の関東レディース大会に、東京都代表として出場します。

ソフトテニス連盟では「2人ともあまり目立たない選手でしたが、非常に練習熱心で、その努力の成果だと思っています。関東大会でも、ぜひ、健闘してほしい」と期待を寄せています。

ソフトテニス連盟

新時代のはじまり

以前から「軟式庭球」とか「軟式テニス」として親しまれてきた名称が、平成4年に「ソフトテニス」となった。これは、ソフトテニスの国際普及の結果、世界約16ヶ国で定着してきたため、まさにソフトテニス新時代のはじまりである。

平成5年に大幅にルールが改正され「国際ルール」が導入された。今までは、前衛・後衛と役割分担されていたが、「国際ルール」では、前衛・後衛との概念がなくなり新しいスタイルのソフトテニスとなっていった。

特に変わったことは前衛のプレーの幅が広がり、技術的に

も、スペシャリストではなく、オールラウンドなプレーが要求されるようになった。

変更当初は、「国際ルール」での試合の戦い方などもわからず苦労もあり、練習を「国際ルール」に合わせた新しい方法に変えたりと大変戸惑うことが多かった。まさに、本格的にソフトテニスが変わったのである。

昭和54年秋川体育館が完成しソフトテニスもインドアの時代となり一年間を通して楽しめるようになった。そこで、インドア大会を昭和55年に男子を中心に開催し、翌56年にママさんの大会も開催し、現在も引き続き両大会が行われている。この大会の中では、特にママさんが活躍し優勝3連覇や上位3チームがあきる野勢で独占した大会などもあった。まさに、西多摩地域におけるソフトテニスの発展普及に貢献してきた。

合併により平成8年あきる野



活躍目ざましいママさん選手

市ソフトテニス連盟が誕生し今年で4年目、連盟内でも新しい動きが始まり、市を代表する大会の一週間前には、秋川クラブと五日市クラブとの合同練習会なども行われ、大会に万全を尽くして参加するようになった。

また、今年初めて山梨県で合宿を行い会員同士の親睦も図られている。そのような中で技術も向上し大きな大会にも参加できるようになってきた。

東京都の代表選手の誕生
●平成11年 広瀬・浦野組関東大会(栃木県)に出場
●平成12年 佐藤・宮野組関東大会(群馬県)に出場
●平成12年 浜本選手全国大会(東京都)に出場

今後とも会員同士の親睦と技術の向上を図るとともに若手の育成にも力を入れていきたい。
▽連絡先 ソフトテニス連盟会長 関口 (☎595-10802)

表 西多摩地域広域行政圏体育大会競技種目・会場

競技種目	会場
バレーボール (家庭婦人)	河辺市民センター体育館
剣道 (団体戦)	東青梅市民センター体育館
バドミントン (ミックスダブルス団体戦)	青梅市総合体育館 (第1スポーツホール)
テニス (男女別団体戦)	青梅市民球技場テニスコート
ゲートボール (混成可)	奥多摩町立氷川中学校グラウンド
インディアカ (女子)	青梅市総合体育館 (第1スポーツホール)
卓球 (男女別団体戦)	青梅市総合体育館 (第2スポーツホール)
綱引き (男女別)	奥多摩町立氷川中学校体育館
ソフトテニス (男女別団体戦)	青梅スタジアムテニスコート (男子) 友田レクリエーション広場 (女子)
ファーストピッチ	男子 青梅市民球技場野球場
ソフトボール	女子 青梅市民球技場少年野球場
スローピッチ	男子 奥多摩町登計原山村広場運動公園
ソフトボール	女子 奥多摩町立氷川小学校校庭
軟式野球 (男子)	青梅スタジアム野球場 奥多摩町登計原山村広場運動公園
ボウリング (団体戦「混成可」)	西東京レーン
グランドゴルフ (レクリエーション組)	奥多摩町立古里小学校校庭



第10回西多摩地域 広域行政圏体育大会

第10回西多摩地域広域行政圏体育大会が11月19日(日)に行われます。

この大会は、西多摩地域の4

市3町1村で組織する西多摩地域広域行政圏の大会で、今年は第1ブロック(青梅市、奥多摩町)が主管で行われます。今年も、あさる野市体協では選手を派遣し、好成績を期待しています。競技種目は表のとおりです。

新春ロードレース大会

参加者募集

来春1月2日スタート

第5回あさる野市新春ロードレース大会の参加者を募集します。

大会開催日 1月2日(火)

▽種目

《3キロの部》

《10キロの部》

● 小学生男子の部・女子の部

● 中学生男子の部・女子の部

● 一般男子の部・一般女子の部

● 参加費 中学生まで200円、高校生以上1000円

● 申し込み方法

参加申し込み書が秋川体育館、ファインプラザにあります。

必要事項を記入し参加費を添えて申し込んでください。

申込み締め切り 11月24日(金)

問い合わせ あさる野市体育協会事務局へ(☎559-1163)

第53回都民体育大会に

14種目225人を派遣

第53回都民体育大会が、5月



新春ロードレース大会

13日から6月4日にわたり開催されました。あさる野市からは14種目225人の選手が参加しました。

この大会の開会式で田島美賀氏(あさる野市陸上競技協会会長)が体育功労者として、また、あさる野市柔道連盟が体育優良団体として東京都体育協会から表彰されました。これは、永年にわたり社会体育に尽力した功績が認められたものです。

第34回市町村体育大会に 10種目120人を派遣

第34回東京都市町村総合体育大会が7月30日に八王子市を中心に開催され、10種目120人の選手が参加しました。

また、この大会の開会式で栗原琢磨氏(軟式野球連盟顧問)が功労表彰を受賞されました。これは、永年にわたり社会体育に尽力した功績が認められたものです。

賛助会員の皆様へ

当協会は、明るく健康な市民生活が営まれるよう市民の生涯スポーツ活動の充実をめざして、社会体育の普及振興に努めておりますが、このような活動が続けるためには、財政基盤の安定がたいへん重要であります。

そのため、各企業及び個人の皆様に広く賛助会への加入、賛助金のご協力を本年度もお願いいたしましたところ、不況下にもかかわらず快くご協力いただき、誠にありがとうございます。

心より感謝申し上げます。なお、今後とも一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

編集後記

創刊号には沢山の反響をいただきました。ありがとうございます。今後、より良い紙面作りを目指したいと考えております。

多くの方がオリンピックから感銘を受けたことと思われまます。スポーツは世界を結ぶ素晴らしいものですね。

今回は、各団体の活動状況を掲載しました。地道な練習や大会への参加など、仲間と共に努力する活動は、日々の調いと明日の活力になっています。皆様も何かスポーツを始めませんか。